



NGO Future Code × 兵庫医科大学共同プロジェクト
「ハイチにおける呼吸器疾患・感染症に対するハイチ人医師育成プロジェクト」

主催：(特定非営利法人) NGO Future Code

期間：2012年6月5日～7月16日

協力団体：兵庫医科大学（呼吸器外科、救命救急部、呼吸器内科、感染制御部、放射線科）、神戸市保健所、尼崎市消防局中消防署、神戸市水上消防署、神戸市航空機動隊、神戸中央市民病院救命救急センター救急部、大阪府済生会千里病院千里救命救急センター、兵庫県災害医療センター、NPO HESO (Health Support Osaka)

実施場所：参議院会館、兵庫医科大学、神戸市中央区、兵庫県広域防災センター、大阪市あいりん地区

対象者：ハイチ人医師 Dr Gertha Pascal、Dr Guy Joissaint 以上2名、

プロジェクト内容：

兵庫医科大学において、呼吸器外科、呼吸器内科、救命救急部、感染制御部、放射線科の協力の下、呼吸器疾患や結核を始めとする感染症についての総合的な知識をつける講義や、レントゲン写真の読影のトレーニング等を複数回行い、診断技術の強化や、医療設備が十分でない現場での救命救急処置等を見学および実習した。また、神戸市保健所の協力の下、結核を中心とした感染症の疫学を学び、公衆衛生分野における知識の強化とその対策の理解に努めた。その他、日本の災害の歴史とその後の防災システムの構築についても学び、また施設設備の見学を行った。

大阪市あいりん地区では、日雇い労働者が集まる地区の結核症の現状を学び、結核に対する行政と民間団体の連携、およびその取り組みを見学実習した。また、休日を利用して文化交流を行い、京都では日本文化の体験も行った。その他、参議院会館にて、今回来日したハイチ人医師らと共にハイチにおける現在の問題に対する報告を行い、官民一体となった今後の支援の必要性について提言を行った。(研修日程：別紙参照)

結果：

呼吸器疾患、感染症に対する総合的知識と診断力の向上を得た。

日本における結核への取り組みを学ぶことができた。救命救急分野における救命処置の知識と技術を獲得した。文化交流を通して、ハイチと日本の両国の架け橋となる人材の育成に寄与した。

メディア掲載：《テレビ放送》

2012年8月7日：関西TVスーパーニュースアンカー

バックナンバーより：http://www.ktv.co.jp/anchor/today/2012_08_07.html

2012年9月27日：関西TVスーパーニュースアンカー

バックナンバーより：http://www.ktv.co.jp/anchor/today/2012_09_27.html#02

《新聞》神戸新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日経新聞コラムなど。

会計報告：

ハイチプロジェクト

収入

支出

名前	金額	名前	金額
帰国隊員 青年支援プロジェクト	500,000	ハイチ人医師渡航費	540,000
ready for	1,362,499	日本人専門家渡航費	240,000
NGO Future Code 自己資金補填	300,130	その他交通費	461,690
		1955USD	152,979
		11800G	25,649
		1. 旅費 交通費計	1420318
協力隊を育てる会 帰国隊員/青年支援プロジェクト予算 使用目的：ハイチ人医師渡航費 飛行機代：ハイチ ポルトープランスから日本 成田 *領収書は下記に添付*		食費	117,412
		1116USD	87,327
		155G	337
		2. 食費計	205076
		雑費	387,827
		ポストカード	18,900
		缶バッチ	100,500
		御礼状郵送費	21,640
		100USD	7,825
		250G	543
		3. 雑費計	537,235
収入合計	¥2,162,629	支出合計	¥2,162,629

備考：ハイチ GD, アメリカ\$は、すべて日本¥に換算

* 添付書類 *

- ① ハイチ人医師 スケジュール表
- ② 帰国隊員/青年支援プロジェクト費
領収書 (ハイチ人医師渡航費 航空券)